



第 1 図 地震後の各海底基準点の (a) 観測期間と水平移動量および (b) 水平移動ベクトル (ユーラシアプレート安定域固定)

下里を基準として重心推定法 (松本ほか、2008) にて解析した結果に、Sengoku (1998) で得られた下里の移動速度 (291°, 3.2cm/year) を補正して算出した。(a) の観測期間を示すバーの色と (b) のベクトルの色とが対応しており、赤色は地震後の全期間についての結果、「宮城沖 1」の白色は 2011 年 7 月 10 日の余震 (M7.3) 後の観測から得られた結果を示す。図中の星は観測点近傍で起きた主な地震 (黄色は本震、橙色は余震) を示す。